

**教科横断型授業「コミュニケーション英語Ⅱ」×「家庭基礎」
学習指導案**

SDGsでの課題		SDGsの番号(12番)「つくる責任 つかう責任」		
実社会での課題		現代社会において、持続可能な消費と生産は「より少ないものでより多く、よりよく」を目指している。これは、ライフサイクル全体を通じて資源の利用、劣化および汚染を減らす一方で、生活の質を高めることによって促進できる。持続可能な消費とライフスタイルについて消費者を教育することも、持続可能な消費と生産のパターンを確保するうえで必要である。		
生徒に身に付けさせたい資質・能力		江戸時代の人々が実現していた循環型社会を通じて日本の現状を見つめ、持続可能な社会を実現するために自分たちがどう在るべきかについて考えさせる。		
主題(教材)		江戸時代の循環型社会を通じて、現代社会で実現可能な「3R」を考えよう。		
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
	指 導 入	5	○ 資源の再生利用が自然保護や生活水準の向上につながった過程について理解させる。	○ワークシート
	展 開	15 15	○ 「再生利用」を表す言葉が存在しなかったほど、そうすることが当たり前だったことを確認させる。 ○ 現代における循環型社会を達成するために、自分たちができることについて考えさせる。	○生徒用端末 ○Power Point ○Teams ○生徒用端末 ○Power Point ○Teams
	開	10	○ 不要な衣服の7割は廃棄されている現状を知り、廃棄しないために実践できる消費行動とライフスタイルを考えさせる。	○生徒用端末 ○Power Point ○YouTube
	整 理	5	○ 学習内容を理解できたか確認し、本時の感想をまとめさせる。	○ワークシート
備 考				